

2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会

2025年11月14日

日本空港ビルディング株式会社

東証プライム（9706）



決算説明会 2026年3月期第2四半期（中間期）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）決算

(1) 旅客数	P 2
(2) 連結業績	P 3
(3) 上期セグメント別業績	P 4
(4) 免税店の売上状況①	P 5
(5) 免税店の売上状況②	P 6
(6) 財務状況	P 7

補足資料

航空旅客数の推移	P 19
2026年3月期第2四半期連結業績詳細	P 20
① セグメント別業績	P 21-23
② 販売費および一般管理費の内訳	P 24
③ 営業外損益と特別損益	P 25
④ 連結キャッシュ・フロー	P 26

2. 2026年3月期連結業績予想

(1) 下期修正予想のポイント	P 8
(2) 旅客数予想	P 9
(3) 連結業績予想	P 10
(4) 下期セグメント別業績予想	P 11
(5) 羽田免税店売上計画	P 12
(6) 販売費及び一般管理費の状況	P 13
(7) 設備投資の状況	P 14
(8) ガバナンス向上の取組み	P 15
(9) 次期中期経営計画の方向性	P 16

2026年3月期連結業績予想詳細	P 27
① セグメント別業績予想	P 28-30
② 設備投資と減価償却費	P 31
③ 営業収益・経常利益・営業CFの推移	P 32

(1) 旅客数実績

- 航空会社の需要喚起策や好調なインバウンド需要等により、国内線・国際線とも前年から増加
- 当初予想に対しては、国際線で予想を上回り、羽田全体で目標値の95%まで増加

(単位：万人)

	2025年度 上期	2024年度 上期	増減率 (%)	当初予想	増減率 (%)	目標値*	達成率 (%)
羽田国内	3,305	3,108	6.3	3,358	△ 1.6	3,490	94.7
羽田国際	1,215	1,116	8.9	1,173	3.6	1,280	95.0
羽田 計	4,521	4,225	7.0	4,532	△ 0.2	4,770	94.8

※ 羽田空港の旅客数は、国土交通省東京航空局「管内空港の利用概況集計表（月別版）」に基づく

※ 目標値は、2022年5月発表の中期経営計画における旅客数想定を中間期に換算した数値（国内線は2019年暦年、国際線は発着枠拡大後）

	2025年度 上期	2024年度 上期	増減率 (%)	当初予想	増減率 (%)
成田国際	1,715	1,601	7.1	1,684	1.8
関空国際	1,384	1,195	15.8	1,316	5.2
中部国際	268	230	16.6	264	1.8

(2) 連結業績概要

- **前年比**：旅客数の増加や価格改定、卸売上の増加等により、全てのセグメントで增收
- **当初予想比**：免税店売上の減速等により、物品販売業において売上未達
- **営業利益・経常利益**は、コストコントロール等により3年連続で過去最高益を更新

注) 億円未満は切捨処理しております (単位: 億円)

区分	2025年度 上期	2024年度 上期	増減額	増減率 (%)	当初予想 上期	差異	達成率 (%)
売上高	1,415	1,317	97	7.4%	1,486	△ 70	95.3%
施設管理運営業	578	512	66	13.0%	573	5	101.0%
物品販売業	748	723	24	3.4%	828	△ 79	90.4%
飲食業	88	81	6	8.1%	85	3	104.0%
営業利益	214	210	3	1.7%	204	10	105.1%
経常利益	203	203	0	0.2%	194	9	105.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	134	119	14	11.8%	126	8	106.4%

(3) 上期セグメント別業績

- 施設管理運営業：旅客増、価格改定等により増収増益、コスト削減により当初予想から利益を拡大
- 物品販売業：免税店売上の減少・高原価率の卸売の増加に伴い粗利率が低下し、前年比で増収減益

区分	上期実績	前期実績	増減	当初予想	増減	(単位：億円)				
営業収益	1,415	1,317	97	1,486	△ 70	国内線売店	対前年	対当初予想		
施設管理運営業	593	528	65	591	2					
物品販売業	756	732	23	836	△ 79					
飲食業	93	86	7	89	4					
(セグメント間の内部売上高)	△ 27	△ 29	1	△ 30	2	国際線売店	△ 9	△ 38		
営業費用	1,200	1,106	94	1,282	△ 81					
施設管理運営業	456	421	35	469	△ 12					
物品販売業	626	579	46	688	△ 61					
飲食業	88	84	4	87	1	その他の売上	26	△ 37		
(調整額)	28	20	8	38	△ 9					
営業利益	214	210	3	204	10	注) 億円未満は切捨処理しております				
施設管理運営業	137	106	30	122	15					
物品販売業	129	152	△ 23	148	△ 18					
飲食業	4	1	2	2	2					
(本社部門費用等)	△ 56	△ 50	△ 6	△ 68	11					

(4) 免税店の売上状況①

- 当初予想未達の主な要因として、ブランドブティックの回復が鈍く単価・購買率が想定を下回った
- 前年比では、羽田免税店は前年好調の反動減も、2Qは減少幅が縮小 (1Q△17% → 2Q△2%)
- 成田・銀座は、インバウンドの増加により前年から売上増加

	上期 当初予想	上期 実績	増減	
購買単価	15,300 円	14,500 円	△ 800円	
購買率	31.5 %	28.8 %	△ 2.7pt	※ 購買率 = 購買客数／国際線旅客数
為替	150 円/\$	146 円/\$	△ 4円	

◆ 免税店売上

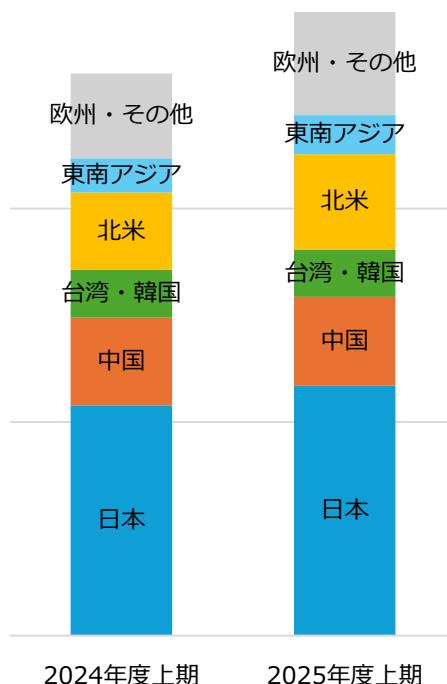
	2025年度 1Q	2024年度 1Q	増減率	2025年度 2Q	2024年度 2Q	増減率	2025年度 上期	2024年度 上期	増減率
羽田免税店売上 (百万円)	24,928	29,907	△ 17%	26,083	26,497	△ 2%	51,012	56,404	△ 10%
為替 (円/\$)	144	156	△ 7%	149	148	△ 1%	146	152	△ 4%
成田免税店売上 (百万円)	3,743	3,461	8%	3,896	3,448	13%	7,638	6,908	11%
銀座市中免税店売上 (百万円)	1,606	1,093	47%	1,787	1,065	68%	3,393	2,159	57%

※ 売上は総取扱高で、PLの収益計上額と異なります

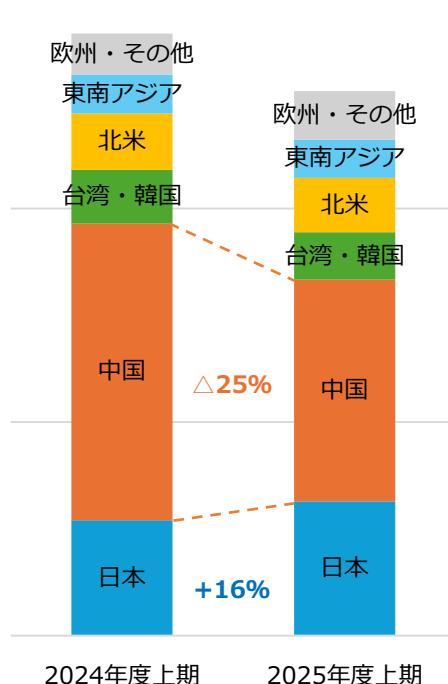
（5）免税店の売上状況②

- 国籍別売上は、日本は旅客数増加・単価向上により伸ばしたが、メイン層の中国が大きく減少
- 中国は旅客数が微増となる中で、ブランドブティック売上が前年反動で減少し購買単価が下落

◆ 羽田国際線国籍別旅客数



◆ 羽田免税店国籍別売上



◆ 羽田免税店 国籍別購買単価・商品分類別シェア

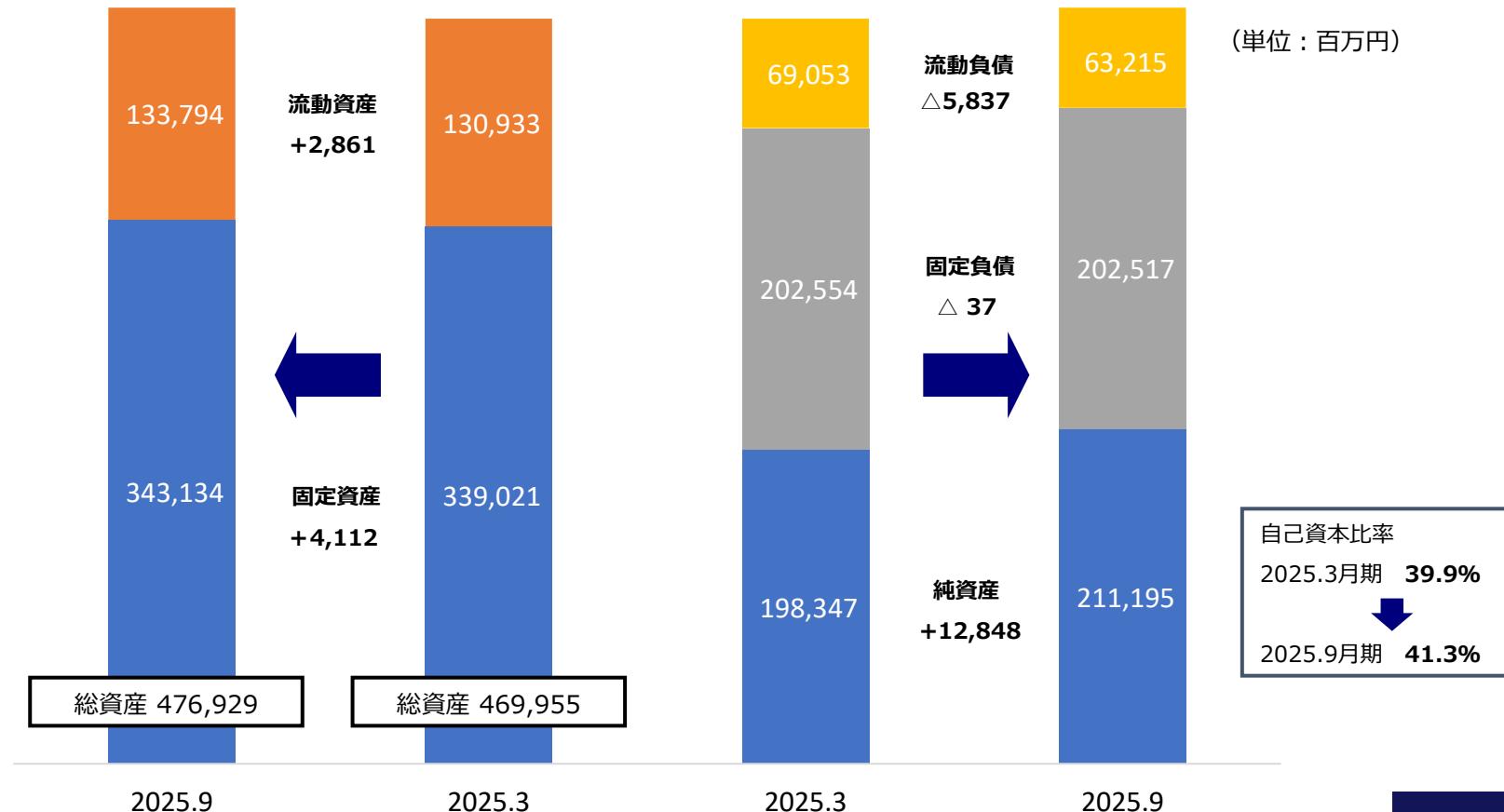
購買単価	2025年度上期	2024年度上期	増減率
日本	12,400	11,400	9%
中国（香港含む）	22,500	27,500	△ 18%
台湾	20,300	21,800	△ 7%
韓国	12,300	12,800	△ 4%
北米	11,400	13,500	△ 16%
東南アジア	14,200	14,100	1%
欧州・その他	7,600	8,700	△ 13%
全体	14,500	16,900	△ 14%

分類別シェア	2025年度上期	2024年度上期	増減
アパレル・宝飾・時計等	37%	43%	△ 6 pt
香水・化粧品	26%	25%	1 pt
酒・たばこ	16%	14%	2 pt
食品	15%	14%	2 pt
その他	5%	4%	1 pt
	100%	100%	

※ 売上は総取扱高で、PLの収益計上額と異なります
国籍別旅客数は8月までの実績を基にした推測値です
国籍別売上は当社推測を含みます

(6) 財務状況

- 資産は、減価償却が進むも、T1北側サテライト工事の進捗に伴い増加
- 利益の積み上げに伴い、自己資本比率は中計目標水準の40%以上を達成
- 普通社債と借入により、ハイブリッドローンのリファイナンスを完了



(1) 下期修正予想のポイント

期初想定

訪日外国人は増加予想だが、中国経済の停滞や不安定な世界情勢が懸念材料

免税店は前期の売上好調の反動はあるものの、旅客増やブランドの入れ替え・店舗再配置などの施策により増収を目指す

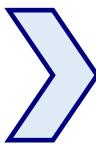
ターミナル運用の拡大と物価上昇により費用が増加

足元の事業環境

羽田国際線便数の大幅な増加は見込めないものの、羽田旅客数は好調を維持

購買動向変化に伴い免税店売上は想定以上に減少
中国人の単価下落・ブティックでの買い控えが顕著

インフレが定着、建設コストの高止まりが続く



下期の方向性

■ 施設管理運営業

- ・引き続き、航空需要増加に対応する施設整備や機能強化、長期計画に基づく維持更新を実施

■ 物品販売業

- ・上期の状況を踏まえて売上・利益予想を減額
- ・伸びている日本人向けの販促強化や、中国人の購買動向変化に対応する施策により、売上減を抑制



- コスト削減・効率化を継続し、投資や修繕計画を見直し、コロナ禍において回収できなかった投資やコストを転嫁した施設管理運営業の価格改定効果と合わせて、下期の利益水準を維持し、通期で当初予想を上回る利益の達成を目指す
- 現中計の最終年度としてコロナ禍から進めた取組みの成果を実現し、次期中計に向けてより筋肉質な経営へ

(2) 旅客数予想

- 国内線は、上期で当初予想をやや下回るも、段階的な回復を踏まえ下期予想を据置
- 国際線は、上期で当初予想を上回ったことに加え、増便情報を反映して上方修正

	2025年度 修正予想	2024年度 実績	増減率 (%)	当初予想	増減率 (%)	目標値※ (単位 (%) 人)	下期増減率 (%)	
							前年比	当初予想比
羽田国内	6,650	6,417	3.6	6,704	△ 0.8	6,900	96.4	1.1 0.0
羽田国際	2,447	2,292	6.8	2,365	3.5	2,560	95.6	4.7 3.3
羽田 計	9,098	8,709	4.5	9,069	0.3	9,460	96.2	2.1 0.9

※ 羽田空港の旅客数は、国土交通省東京航空局「管内空港の利用概況集計表（月別版）」に基づく

※ 目標値は、2022年5月発表の中期経営計画における旅客数想定（国内線は2019年暦年、国際線は発着枠拡大後）

	2025年度 修正予想	2024年度 実績	増減率 (%)	当初予想	増減率 (%)
成田国際	3,521	3,337	5.5	3,396	3.7
関空国際	2,793	2,507	11.4	2,608	7.1
中部国際	560	491	14.2	531	5.6

(3) 連結業績予想

- **前年比**：引き続き好調な旅客数や価格改定効果等により、全てのセグメントで増収を予想
- **当初予想比**：上期の傾向を反映し物品販売業の予想を引き下げるが、下期の利益を維持
- **営業利益・経常利益は、過去最高益更新を見込む**

注) 億円未満は切捨処理しております (単位: 億円)

区分	下期					通期				
	修正予想	前期実績	増減	当初予想	増減	修正予想	前期実績	増減	当初予想	増減
売上高	1,467	1,381	85	1,514	△ 46	2,883	2,699	183	3,000	△ 117
施設管理運営業	586	543	43	580	6	1,165	1,055	109	1,153	12
物品販売業	788	752	35	848	△ 59	1,537	1,476	60	1,676	△ 139
飲食業	92	85	7	86	6	181	167	13	171	10
営業利益	201	174	25	201	0	415	385	29	405	10
経常利益	195	153	41	191	4	399	357	41	385	14
親会社株主に帰属する当期純利益	119	154	△ 34	119	0	254	274	△ 20	245	9
設備投資額						366	261		462	
減価償却費						298	281		304	
EBITDA						713	666		709	
配当金						90.0円	90.0円		90.0円	
配当性向						33.0%	30.5%		34.2%	

(4) 下期セグメント別業績予想

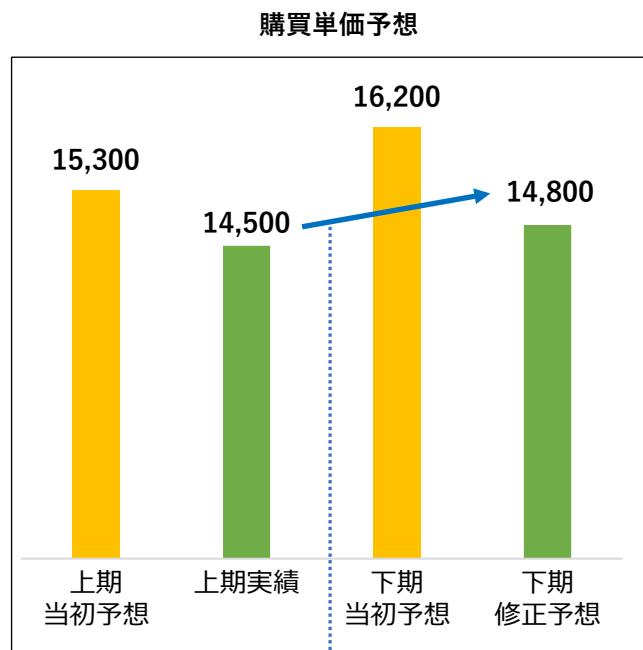
- 施設管理運営業：価格改定効果等により大幅に増益、コストを抑制し利益を拡大
- 物品販売業：免税店売上は前期比でプラスに転換、当初予想から売上・利益計画を引き下げるが他のセグメントで補い利益水準を維持

区分	下期予想	前期実績	増減	当初予想	増減	(単位：億円)
営業収益	1,467	1,381	85	1,514	△ 46	
施設管理運営業	606	560	45	601	5	
物品販売業	794	761	33	854	△ 59	
飲食業	95	90	5	90	5	
(セグメント間の内部売上高)	△ 29	△ 30	1	△ 31	1	
営業費用	1,267	1,207	59	1,313	△ 45	
施設管理運営業	478	472	5	493	△ 14	
物品販売業	663	620	43	698	△ 34	
飲食業	90	86	3	86	4	
(調整額)	35	27	7	36	0	
営業利益	201	174	25	201	0	
施設管理運営業	127	88	39	108	19	
物品販売業	131	141	△ 9	156	△ 24	
飲食業	5	3	1	4	1	
(本社部門費用等)	△ 64	△ 58	△ 5	△ 67	2	

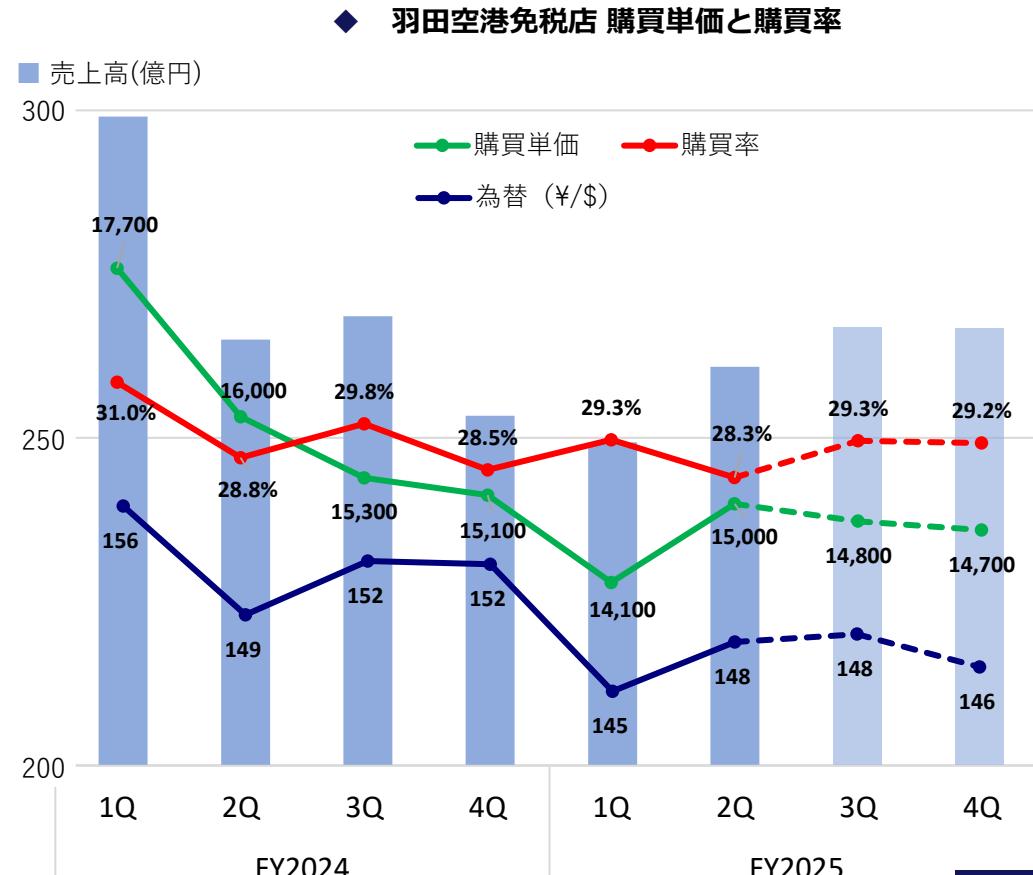
注) 億円未満は切捨処理しております

(5) 羽田空港免税店の売上予想

- 上期動向を受けて購買単価の見通しを引き下げるが、店舗改装・施策効果による底上げを目指す
- さらに、好調な日本人に人気のブランド導入・新規顧客層の獲得を図るPOPUP等の施策を展開



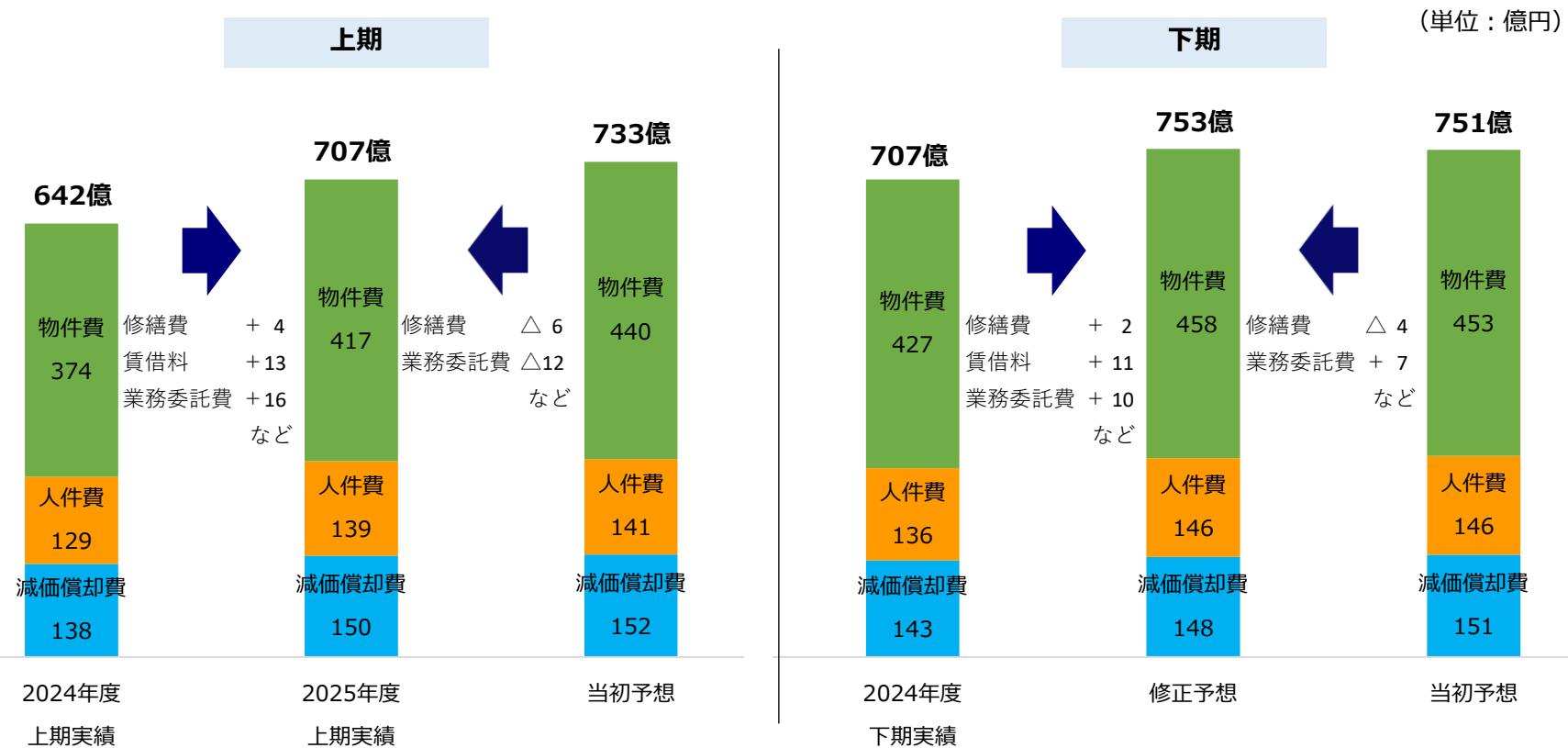
- エルメス・シャネル改装効果
- ブティック店コアタイム営業時間確保・MD変更
- 日本人に人気の化粧品ブランド新規導入 等



※ 売上は総取扱高で、PLの収益計上額と異なります

(6) 販管費の詳細

- 上期：物価上昇やターミナル拡大に伴い費用増加、当初予想比では修繕費等の先送りも含め削減
- 下期：上期から期ずれした費用を消化しつつ、削減や見直しを継続し当初予想から微増に止める



(7) 設備投資の状況

- 建設コスト上昇や購買動向変化を踏まえ、採算性悪化が見込まれる投資計画を見直し減額
- 中計期間では建設コスト高騰に加え、設備老朽化に伴う更新工事等を実施し投資総額は増加
サテライト整備工事は2026年度完工予定

◆ 2025年度設備投資の見直し

当初予想	→	修正予想
462億円	▲ 96億	366億円

主な見直し内容

国際線ラウンジ等増設工事	▲ 47 億円
国際線店舗工事	▲ 17 億円
国際線施設更新・維持管理	▲ 18 億円
T 1 北サテライト建設工事	▲ 5 億円
T 2 北サテライト延伸工事	+ 19 億円

◆ 中期経営計画期間における設備投資額

	(億円)				
	22年度	23年度	24年度	25年度	合計
中計公表時	150	290	340	270	1,050
実績／予想	120	317	261	366	1,064

(うち、サテライト整備)

中計公表時	60	190	180	100	530
実績／予想	64	183	75	121	443

(26年度)

-
(157)

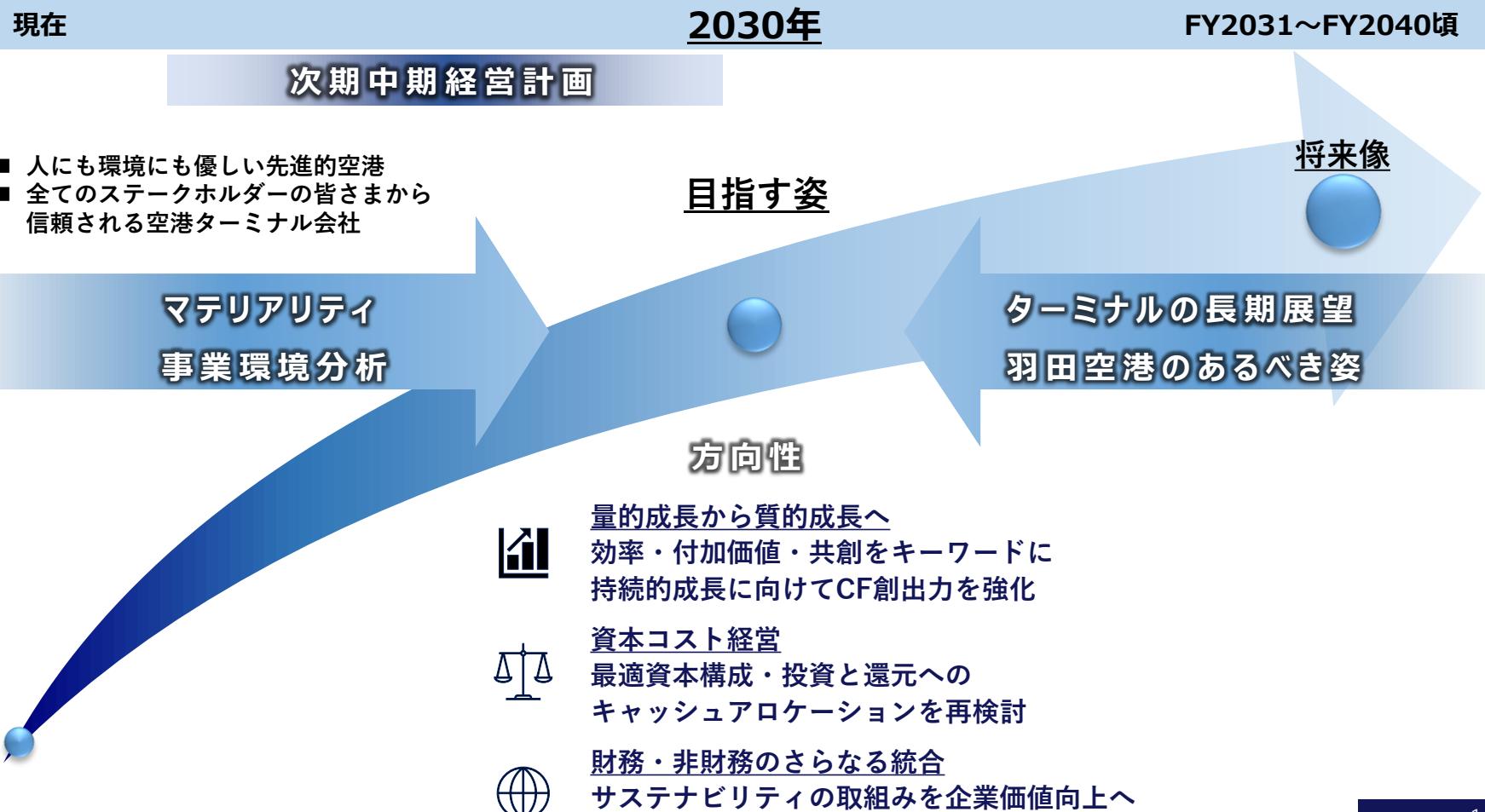
(8) ガバナンス向上の取り組み

■ 監査の実効性確保・経営への牽制機能強化・グループ会社を含む内部統制機能強化を着実に推進

再発防止策 2025/6/12公表	実施状況
(1) 経営体制の刷新	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社外取締役8名（過半数）選任済 ・ 相談役制度、役付取締役を廃止済
(2) 最高経営責任者の後継者育成計画の策定及び指名プロセスの透明化及び指名諮問委員会の在り方の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「サクセッションプランの策定を踏まえた役員定年制度の導入」を指名諮問委員会にて議論し、取締役会にて決議
(3) 経営トップへの牽制機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査等委員の職務を補助する監査等委員会室を新設 ・ グループ会社非常勤監査役を監査等委員会室に配置し、情報共有・業務支援体制を整備
(4) 組織風土の改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部コンプライアンス通報窓口設置 ・ 関係会社管理規定を改め、日本空港ビルグループ会社管理規程を制定
(5) 経営改善委員会の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善委員会設置済 ・ 上期中に委員会を5回開催
(6) コーポレート・ガバナンス委員会の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーポレートガバナンス委員会設置済
(7) 繼続的なモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会にて進捗状況を報告
その他の行動計画記載項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部統制推進体制を強化、内部統制システム基本方針改定 ・ 調達プロセスの整備と透明性向上について方針を審議

(9) 次期中期経営計画の方向性

- 現中期経営計画で掲げた2030年に目指す姿は本質的には不变
- フォアキャスト・バックキャスト視点から目指す姿を再定義し、アップデートを予定



Intentionally blank

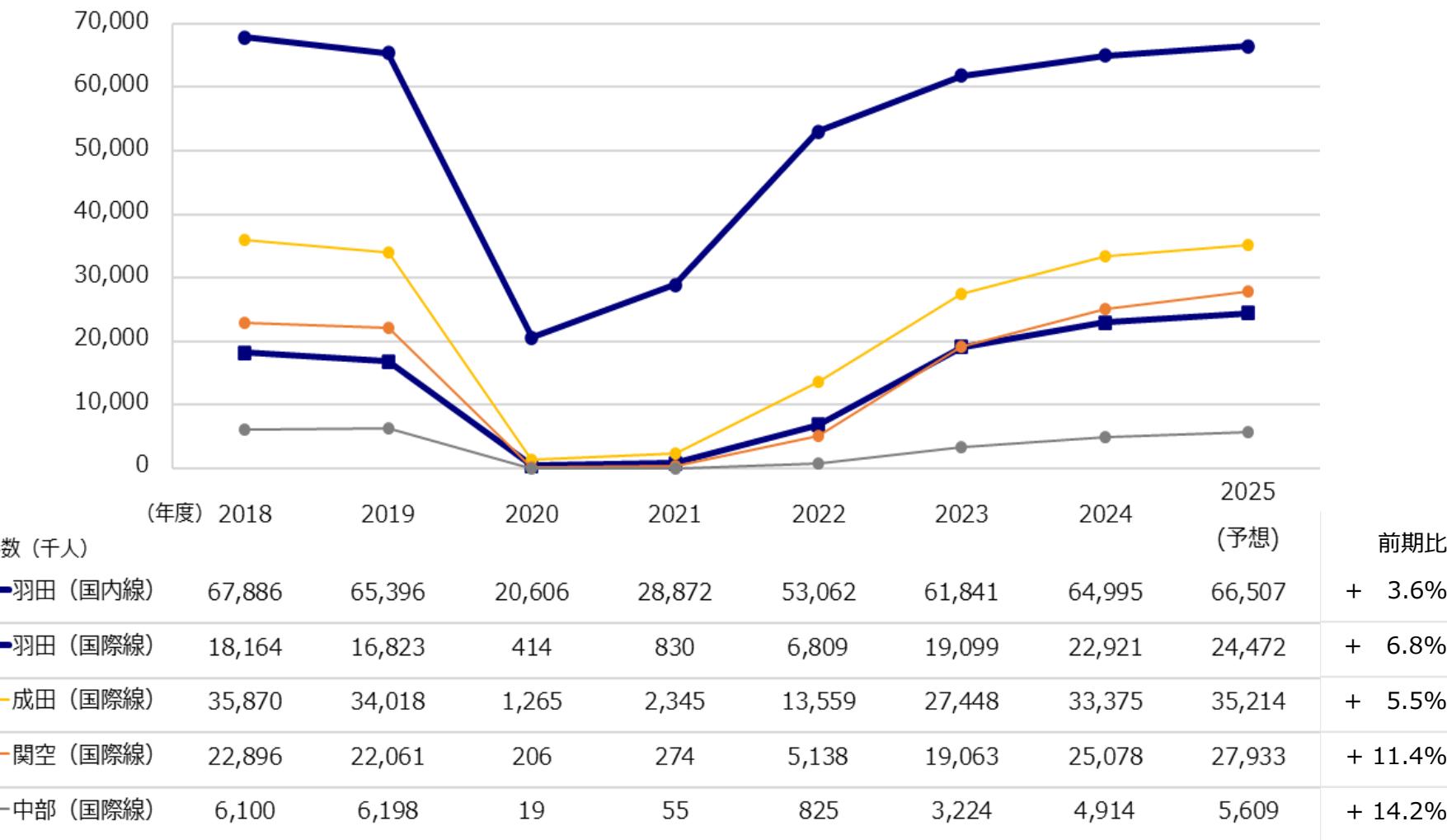
2026年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会

補足資料

日本空港ビルディング株式会社



航空旅客数の推移（羽田・成田・関空・中部）



※旅客数実績：国土交通省、成田国際空港(株)、関西エアポート(株)及び中部国際空港(株) 公表値

予想：当社作成

連結業績詳細

区分	2025年度 上期		2024年度 上期		増減額	増減率	当初予想		差異
	百万円	比率	百万円	比率			百万円	%	
売上高	141,544	100.0	131,752	100.0	9,792	7.4	148,600	100.0	△ 7,055
施設管理運営業	57,854	40.9	51,207	38.9	6,647	13.0	57,300	38.6	554
物品販売業	74,849	52.9	72,368	54.9	2,480	3.4	82,800	55.7	△ 7,950
飲食業	8,840	6.2	8,176	6.2	664	8.1	8,500	5.7	340
売上原価	49,334	34.9	46,439	35.2	2,895	6.2	54,810	36.9	△ 5,475
商品売上原価	44,429	31.4	42,023	31.9	2,406	5.7	50,120	33.7	△ 5,690
(商品売上原価率 ※)	(59.4%)		(58.1%)		(1.3P)		(60.5%)		(△ 1.2P)
飲食売上原価	4,905	3.5	4,416	3.4	489	11.1	4,689	3.2	215
(飲食売上原価率 ※)	(55.5%)		(54.0%)		(1.5P)		(55.2%)		(0.3P)
売上総利益	92,209	65.1	85,312	64.8	6,896	8.1	93,789	63.1	△ 1,580
販売費及び一般管理費	70,762	50.0	64,219	48.7	6,542	10.2	73,400	49.4	△ 2,637
営業利益	21,446	15.2	21,093	16.0	353	1.7	20,389	13.7	1,056
営業外損益	△ 1,077	△ 0.8	△ 761	△ 0.6	△ 315	-	△ 1,018	△ 0.7	△ 59
経常利益	20,369	14.4	20,331	15.4	38	0.2	19,371	13.0	997
特別損益	16	0.0	△ 497	△ 0.4	513	-	△ 49	△ 0.0	66
法人税等	3,620	2.6	3,481	2.6	138	4.0	3,442	2.3	177
非支配株主に帰属する中間純利益	3,363	2.4	4,362	3.3	△ 998	△ 22.9	3,331	2.2	32
親会社株主に帰属する中間純利益	13,401	9.5	11,990	9.1	1,411	11.8	12,547	8.4	853

※ 商品売上原価率：商品売上原価／物品販売業売上高

飲食売上原価率：飲食売上原価／飲食業売上高

①セグメント別業績 施設管理運営業

区分	2025年度		2024年度		増減額	増減率	当初予想	
	上期	比率	上期	比率			上期	差異
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
家賃収入	10,886	18.3	10,231	19.4	655	6.4	10,800	86
施設利用料収入	33,305	56.1	29,222	55.3	4,083	14.0	33,800	△ 494
その他の収入	13,662	23.0	11,753	22.2	1,909	16.2	12,700	962
計	57,854	97.4	51,207	96.9	6,647	13.0	57,300	554
セグメント間の内部売上高	1,540	2.6	1,639	3.1	△ 98	△ 6.0	1,800	△ 259
合計	59,395	100.0	52,846	100.0	6,548	12.4	59,100	295
営業費用	45,692	76.9	42,168	79.8	3,524	8.4	46,900	△ 1,207
営業利益	13,703	23.1	10,678	20.2	3,024	28.3	12,200	1,503

- | | | |
|----------|---|---------------------------|
| ・家賃収入 | : 管理費改定・歩合賃料増等による収入の増加 | + 6億円 |
| ・施設利用料収入 | : 国内線旅客取扱施設利用料収入の増加
国際線旅客取扱施設利用料収入の増加
国際線設備利用料収入の増加 | + 23億円
+ 12億円
+ 4億円 |
| ・その他の収入 | : 国内線駐車場、広告、ラウンジ収入等の増加
国際線駐車場、広告、ラウンジ収入等の増加
請負工事収入の増加 | + 6億円
+ 7億円
+ 2億円 |

①セグメント別業績 物品販売業

区分	2025年度		2024年度		増減額	増減率	当初予想	
	上期	比率	上期	比率			上期	差異
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
国内線売店	7,649	10.1	6,933	9.5	716	10.3	8,000	△ 350
国際線売店	47,252	62.5	48,167	65.7	△ 914	△ 1.9	51,100	△ 3,847
その他の売上	19,947	26.4	17,268	23.6	2,678	15.5	23,700	△ 3,752
計	74,849	99.0	72,368	98.8	2,480	3.4	82,800	△ 7,950
セグメント間の内部売上高	756	1.0	894	1.2	△ 138	△ 15.4	800	△ 43
合計	75,605	100.0	73,263	100.0	2,342	3.2	83,600	△ 7,994
営業費用	62,634	82.8	57,984	79.1	4,650	8.0	68,800	△ 6,165
営業利益	12,970	17.2	15,278	20.9	△ 2,308	△ 15.1	14,800	△ 1,829

- ・国内線売店 : 羽田国内線直営店舗等の売上増加 + 5億円
- ・国際線売店売上 : 羽田国際線直営店舗等の売上増加 △ 28億円
成田空港店舗の売上増加 + 6億円
銀座市中免税店舗の売上増加 + 11億円
- ・その他の売上 : 地方空港等への卸売の増加 + 16億円
空港外AirBic店舗の売上増加 + 10億円

①セグメント別業績 飲食業

区分	2025年度		2024年度		増減額	増減率	当初予想	
	上期	比率	上期	比率			上期	差異
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
飲食店舗売上	4,308	46.1	4,242	49.2	66	1.6	4,100	208
機内食売上	3,765	40.3	3,335	38.7	430	12.9	3,600	165
その他の売上	766	8.2	598	6.9	167	28.0	800	△ 33
計	8,840	94.7	8,176	94.8	664	8.1	8,500	340
セグメント間の内部売上高	497	5.3	449	5.2	47	10.6	400	97
合計	9,337	100.0	8,625	100.0	711	8.3	8,900	437
営業費用	8,873	95.0	8,430	97.7	443	5.3	8,700	173
営業利益	463	5.0	195	2.3	267	136.7	200	263

- ・飲食店舗売上
- ・機内食売上

: 羽田国内線、国際線直営飲食店舗の売上増加
: 顧客航空会社への機内食売上増加

+ 0.6億円
+ 4億円

②販売費および一般管理費の内訳

区分	2025年度 上期		2024年度 上期		増減額	増減率		
	百万円	比率 %	百万円	比率 %				
売上高	141,544	100.0	131,752	100.0	9,792	7.4		
販売費及び一般管理費	70,762	50.0	64,219	48.7	6,542	10.2		
従業員給料	6,605	4.7	6,000	4.6	605	10.1		
賞与引当金繰入額	2,599	1.8	2,395	1.8	203	8.5		
役員賞与引当金繰入額	44	0.0	143	0.1	△ 99	△ 69.0		
株式給付引当金繰入額	266	0.2	122	0.1	143	117.1		
退職給付費用	365	0.3	289	0.2	76	26.3		
賃借料	9,338	6.6	7,991	6.1	1,347	16.9		
業務委託費	16,389	11.6	14,776	11.2	1,613	10.9		
減価償却費	15,035	10.6	13,813	10.5	1,221	8.8		
その他の経費	20,116	14.2	18,685	14.2	1,431	7.7		

③営業外損益と特別損益

区分	2025年度 上期		2024年度 上期		増減額	増減率		
	百万円	比率 %	百万円	比率 %				
売上高	141,544	100.0	131,752	100.0	9,792	7.4		
営業利益	21,446	15.2	21,093	16.0	353	1.7		
営業外収益	1,747	1.2	1,358	1.0	388	28.6		
受取利息・配当金	567	0.4	424	0.3	143	33.7		
持分法による投資利益	485	0.3	474	0.4	11	2.4		
その他	693	0.5	459	0.3	234	51.0		
営業外費用	2,824	2.0	2,119	1.6	704	33.2		
支払利息	1,804	1.3	1,544	1.2	259	16.8		
固定資産除却損	545	0.4	237	0.2	307	129.2		
その他	1,258	0.9	1,306	1.0	△ 48	△ 3.7		
経常利益	20,369	14.4	20,331	15.4	38	0.2		
特別利益	67	0.0	87	0.1	△ 19	△ 22.3		
特別損失	51	0.0	584	0.4	△ 533	△ 91.2		
法人税等	3,620	2.6	3,481	2.6	138	4.0		
非支配株主に帰属する中間純利益	3,363	2.4	4,362	3.3	△ 998	△ 22.9		
親会社株主に帰属する中間純利益	13,401	9.5	11,990	9.1	1,411	11.8		

④連結キャッシュ・フロー

区分	2025年度 上期		増減額
	百万円	百万円	
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,543	30,761	△ 217
税金等調整前当期純利益	20,385	19,834	551
減価償却費	15,071	13,845	1,226
棚卸資産の増減額	△ 503	△ 2,170	1,666
仕入債務の増減額	△ 307	△ 80	△ 226
その他の流動資産	△ 3,108	△ 1,360	△ 1,747
その他の流動負債	2,295	3,116	△ 820
その他	978	1,646	△ 667
法人税等の支払額	△ 4,269	△ 4,069	△ 200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,303	△ 45	△ 27,257
有形固定資産の取得	△ 26,044	△ 7,318	△ 18,726
無形固定資産の取得	△ 813	△ 1,399	585
有価証券	-	10,000	△ 10,000
投資有価証券	△ 101	△ 1,088	987
その他	△ 343	△ 239	△ 103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,695	△ 16,566	12,870
短期借入金	△ 150	-	△ 150
長期借入金	△ 18,084	△ 10,744	△ 7,339
社債の発行による収入	20,000	-	20,000
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 1,639	1,639
配当金の支払	△ 5,122	△ 3,911	△ 1,210
その他	△ 338	△ 270	△ 68
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 28	52	△ 81
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 483	14,202	△ 14,685
現金及び現金同等物の期首残高	85,878	75,395	10,483
現金及び現金同等物の期末残高	85,395	89,597	△ 4,202

(1) 連結業績予想

区分	2025年度 修正予想		2024年度 実績		増減額	増減率	当初予想		差異	
	比率	百万円	比率	百万円			比率	百万円		
売上高	288,300	100.0		269,923	100.0	18,376	6.8	300,000	100.0	△11,700
施設管理運営業	116,500	40.4		105,540	39.1	10,959	10.4	115,300	38.4	1,200
物品販売業	153,700	53.3		147,666	54.7	6,033	4.1	167,600	55.9	△13,900
飲食業	18,100	6.3		16,716	6.2	1,383	8.3	17,100	5.7	1,000
売上原価	100,700	34.9		96,397	35.7	4,302	4.5	111,000	37.0	△10,300
商品売上原価	90,700	31.5		87,317	32.3	3,382	3.9	101,600	33.9	△10,900
(商品売上原価率 ※)	(59.0%)			(59.1%)		(△ 0.1P)		(60.6%)		(△ 1.6P)
飲食売上原価	10,000	3.5		9,079	3.4	920	10.1	9,400	3.1	600
(飲食売上原価率 ※)	(55.2%)			(54.3%)		(0.9P)		(55.0%)		(0.3P)
売上総利益	187,600	65.1		173,526	64.3	14,073	8.1	189,000	63.0	△ 1,400
販売費及び一般管理費	146,100	50.7		134,969	50.0	11,130	8.2	148,500	49.5	△ 2,400
営業利益	41,500	14.4		38,557	14.3	2,942	7.6	40,500	13.5	1,000
営業外損益	△ 1,600	△ 0.6		△ 2,833	△ 1.0	1,233	-	△ 2,000	△ 0.7	400
経常利益	39,900	13.8		35,723	13.2	4,176	11.7	38,500	12.8	1,400
特別損益	39,900	13.8		35,183	13.0	4,716	13.4	38,500	12.8	1,400
法人税等	8,300	2.9		6,619	2.5	1,680	25.4	7,400	2.5	900
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,500	2.6		13,178	4.9	△ 5,678	△ 43.1	7,600	2.5	△ 100
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,400	8.8		27,470	10.2	△ 2,070	△ 7.5	24,500	8.2	900

※ 商品売上原価率：商品売上原価／物品販売業売上高

飲食売上原価率：飲食売上原価／飲食業売上高

①セグメント別業績予想 施設管理運営業

区分	2025年度		2024年度		増減額	増減率	当初予想	
	修正予想	比率	実績	比率			2025.5	差異
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
家賃収入	21,800	18.2	20,693	19.0	1,106	5.3	21,700	100
施設利用料収入	68,100	56.8	60,258	55.3	7,841	13.0	68,200	△ 100
その他の収入	26,600	22.2	24,587	22.6	2,012	8.2	25,400	1,200
計	116,500	97.1	105,540	96.9	10,959	10.4	115,300	1,200
セグメント間の内部売上高	3,500	2.9	3,397	3.1	102	3.0	3,900	△ 400
合計	120,000	100.0	108,937	100.0	11,062	10.2	119,200	800
営業費用	93,500	77.9	89,442	82.1	4,057	4.5	96,200	△ 2,700
営業利益	26,500	22.1	19,495	17.9	7,004	35.9	23,000	3,500

- | | | |
|----------|---|---------------------------|
| ・家賃収入 | : 管理費改定・歩合賃料増等による収入の増加 | + 11億円 |
| ・施設利用料収入 | : 国内線旅客取扱施設利用料収入の増加
国際線旅客取扱施設利用料収入の増加
国際線設備利用料収入の増加 | + 49億円
+ 20億円
+ 8億円 |
| ・その他の収入 | : 国内線駐車場、広告、ラウンジ収入等の増加
国際線駐車場、広告、ラウンジ収入等の増加 | + 15億円
+ 8億円 |

①セグメント別業績予想 物品販売業

区分	2025年度 修正予想		2024年度 実績		増減額	増減率	当初予想 2025.5	
	比率	比率	実績	比率			差異	
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
国内線売店	16,000	10.3	14,445	9.7	1,554	10.8	16,000	-
国際線売店	95,100	61.3	95,282	63.8	△ 182	△ 0.2	103,000	△ 7,900
その他の売上	42,600	27.5	37,938	25.4	4,661	12.3	48,600	△ 6,000
計	153,700	99.1	147,666	98.9	6,033	4.1	167,600	△13,900
セグメント間の内部売上高	1,400	0.9	1,711	1.1	△ 311	△ 18.2	1,400	-
合計	155,100	100.0	149,377	100.0	5,722	3.8	169,000	△13,900
営業費用	129,000	83.2	119,989	80.3	9,010	7.5	138,600	△ 9,600
営業利益	26,100	16.8	29,387	19.7	△ 3,287	△ 11.2	30,400	△ 4,300

- ・国内線売店 : 羽田国内線直営店舗等の売上増加 + 13億円
- ・国際線売店売上 : 羽田国際線直営店舗等の売上増加 △ 29億円
成田空港店舗の売上増加 + 8億円
銀座市中免税店舗の売上増加 + 18億円
- ・その他の売上 : 地方空港等への卸売の増加 + 36億円
空港外AirBic店舗の売上増加 + 10億円

①セグメント別業績予想 飲食業

区分	2025年度 修正予想		2024年度 実績		増減額	増減率	当初予想 2025.5	
	比率	比率	実績	比率			差異	
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
飲食店舗売上	8,500	45.0	8,515	48.2	△ 15	△ 0.2	8,300	200
機内食売上	7,800	41.3	6,899	39.0	900	13.1	7,100	700
その他の売上	1,800	9.5	1,302	7.4	497	38.2	1,700	100
計	18,100	95.8	16,716	94.5	1,383	8.3	17,100	1,000
セグメント間の内部売上高	800	4.2	963	5.5	△ 163	△ 17.0	800	-
合計	18,900	100.0	17,680	100.0	1,219	6.9	17,900	1,000
営業費用	17,900	94.7	17,100	96.7	799	4.7	17,300	600
営業利益	1,000	5.3	579	3.3	420	72.5	600	400

- ・飲食店舗売上 : 羽田直営飲食店舗数の減少に伴う売上減 △ 1億円
- ・機内食売上 : 顧客航空会社への機内食売上増加 + 9億円
- ・その他の売上 : 弁当・飲食料品卸売等の増加 + 4億円

②設備投資と減価償却費

区分	2021.3期 (実績)	2022.3期 (実績)	2023.3期 (実績)	2024.3期 (実績)	2025.3期 (実績)	2026.3期 (予想)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
設備投資額	9,282	5,289	12,083	31,779	26,191	36,600
減価償却費	34,310	31,715	28,954	28,171	28,127	29,800

・主な設備投資額の内訳

2026.3月期（予想）

施設管理運営業 320億円

T1/T2サテライト整備工事 121億円、設備更新工事 125億円 等

物品販売業／飲食業 26億円

店舗改装・倉庫整備工事 19億円、飲食業 7億円

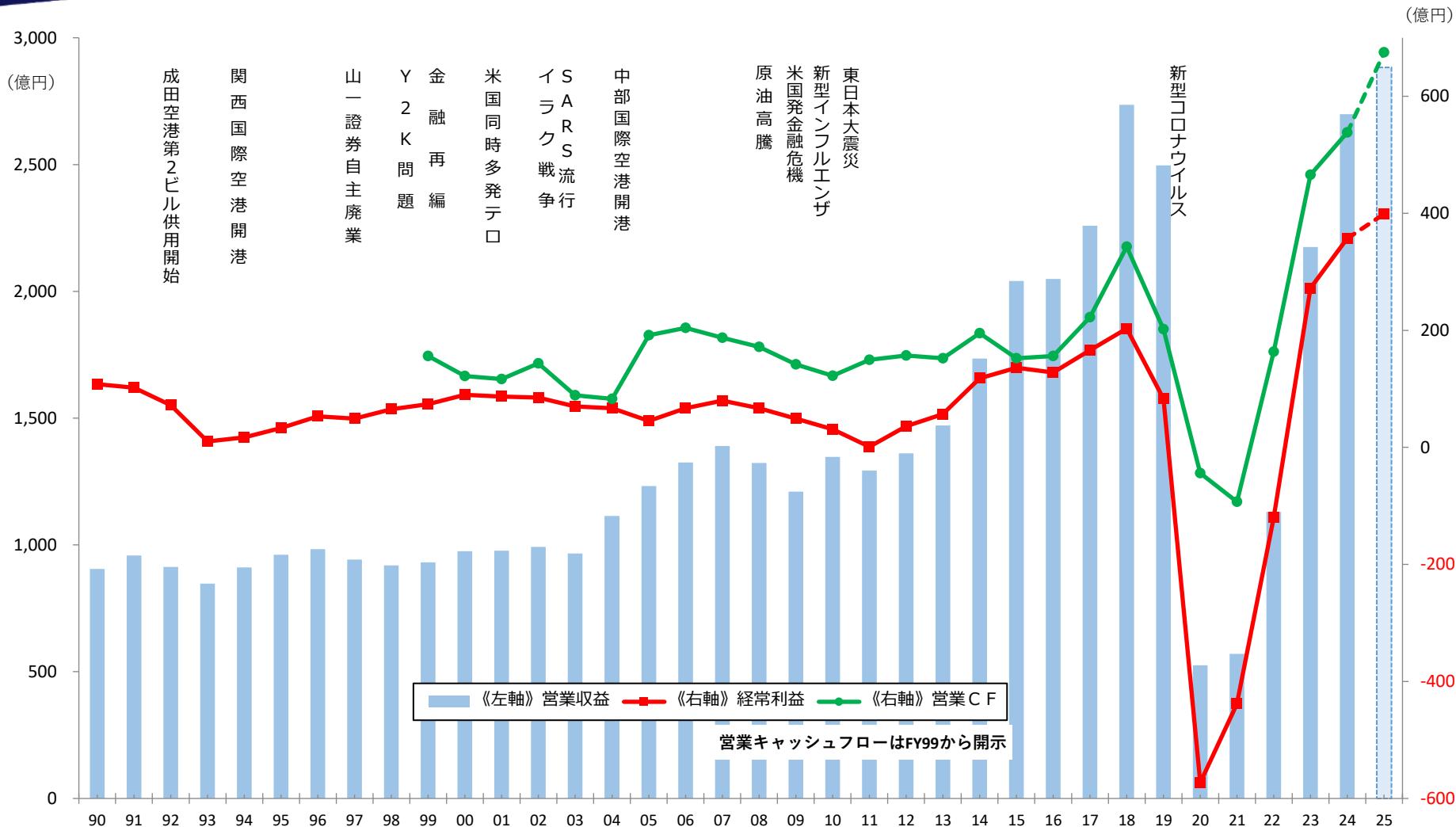
経営基盤、その他 20億円

DX関連投資 20億円

・主な減価償却費の内訳

	2021.3期 (実績)	2022.3期 (実績)	2023.3期 (実績)	2024.3期 (実績)	2025.3期 (実績)	2026.3期 (予想)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
第1ターミナル	4,500	3,800	3,300	3,200	3,300	3,900
第2ターミナル	11,800	10,400	9,200	8,700	8,600	10,000
T I A T	11,200	11,100	10,600	10,600	10,400	9,500
P 4 駐車場	600	500	400	500	500	300

③営業収益・経常利益・営業CFの推移



将来の見通しに関する記述についてのご注意

本資料に掲載されている、弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは、弊社に関する将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提（仮定）等を基礎としています。これらの実現についてはさまざまな要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

日本空港ビルディング株式会社 企画管理本部 経営企画部 I R 課

TEL：03（5757）8409

FAX：03（5757）8029

E-MAIL：ir@jat-co.com

